

木更津市消防団だより



纏まとい

2017. 秋号

回覧

発行元
木更津市消防団
TEL 22-0119
(警防課)
2017年10月発行
VOL.30



バック
ナンバーへ

辞令交付式

4月7日(金)の午後6時30分から、東京ベイプラザホテルにて、平成29年度の分団長・副分団長・部長・班長及び新入団員の辞令交付式が行われました。当日は分団長以上が出席し、団長より辞令の交付を受け、気持ちも新たに、今後の消防団活動に一層励もうとする決意が感じられました。



君津支部消防操法大会

7月1日(土)旧木更津市役所西側駐車場で、(公財)千葉県消防協会君津支部主催「第38回君津支部消防操法大会」が開催されました。同大会は、消防操法の普及向上と消防団員の士気高揚を図るとともに、千葉県消防操法大会への出場隊を選抜することを目的とした大会で、木更津、君津、富津、袖ヶ浦の各市の代表が互いの技術を競い合いました。

木更津市からは、ポンプ車の部に8分団2部、小型ポンプの部に2分団5部が出場しました。

大会の結果

【ポンプ車の部】

- ▽優勝 袖ヶ浦市消防団
 - ▽準優勝 木更津市消防団
 - ▽第三位 君津市消防団
 - ▽第四位 富津市消防団
- #### 【小型ポンプの部】
- ▽優勝 君津市消防団
 - ▽準優勝 木更津市消防団
 - ▽第三位 袖ヶ浦市消防団
 - ▽第四位 富津市消防団

出場チーム紹介

《ポンプ車の部》8分団2部

指揮者 富岡章紀 1番員 東 昂史
2番員 及川正一 3番員 東 圭亮
4番員 根本紘樹 補助員 根本茂樹
部長コメント 小川 順也

支部大会に向け、4月より2か月を超える訓練は大変でしたが、8分団、OB、地域の皆様のご協力もあり、準優勝、3番員個人賞という結果を勝ち取る事が出来ました。この経験を生かして今後の消防活動、地域防災に生かして行きたいと思えます。



個人賞受賞者
3番員 東 圭亮

《小型ポンプの部》2分団5部

指揮者 井上大輔 1番員 鈴木友章
2番員 井上啓輔 3番員 鈴木竜馬
補助員 石井 徹
部長コメント 嶋野 幸雄

今回準優勝、指揮者個人賞という良い結果を残す事が出来ました。消防署員の方々の熱心なご指導、そして2分団をはじめとした消防団並びに地元後援会の皆様のご支援、ご協力によるお陰です。また来年も支部大会へ挑戦し、今度こそ県大会への出場を果たしたいと思えます。



個人賞受賞者
指揮者 井上 大輔

住宅の防火安全対策

いこいの場である我が家で火災が発生し、貴重な思い出の品々が、また、さらには人命までもが文字通り灰じんに帰すということは想像するだけで背筋が凍りつく気がします。

それでは各戸で何か具体的な対策をしているかとなると火災は滅多に起こらない災害だと思っている人が多いのではないのでしょうか。

今回は住宅の防火安全対策についてお話しします。

1 調理中はコンロから離れない

調理中は絶対にコンロから離れないようにしましょう。

また、火を使用しないIHクッキングヒーターでも専用の鍋を使わない、揚げ物調理の際に少量の油で加熱する等、誤った使い方をすると火災になることがあります。

2 寝タバコは絶対にしない

人間、横になると眠くなるのは自然な事です。タバコを吸ってる途中で眠ってしまったら・・・特に、布団やベッドの上ではタバコは吸わないようにしましょう。

3 ストープの周りに物を置かない

ストーブが関連する火災の原因に「ストーブに接触した可燃物が発火」があります。ストーブの周りに物を置いたり、ストーブの上や近くで洗濯物を乾かしたりしないようにしましょう。

4 家の周りを整理整頓

家の外や車庫に縛った雑誌

を置いておいたり刈った草をそのまま山積みしておいたりすると放火犯の絶好の標的になる可能性があります。家の周りの整理整頓に、心掛け、また、車庫や物置などには鍵を掛けるようにしましょう。

5 ライターやマッチは子どもの手が届かないところに

子どもは火の恐ろしさを知りません。でも、大人が使っているところを見ているので使い方を知っています。ライターやマッチは子どもの手が届かないところに置くようにしましょう。また、火の恐ろしさを子どもにしっかりと教えておきましょう。



6 コンセントの掃除を心掛ける

コンセント部分のホコリやコードの折れ曲がり、束ねての使用は火災の原因となります。ホコリがたまらないよう、定期的に掃除しましょう。また、束ねたままでの使用、コードを持ってコンセントを抜くのは絶対にやめましょう。

7 住宅用火災警報器の設置、定期点検

平成16年の消防法改正で住宅用火災警報器の設置が義務

付けられました。木更津市では、寝室と階段上部に設置が義務付けられています。今一度確認してみましょう。また、設置して安心しきっていますか？

住宅用火災警報器は電池で動作しています。定期的に点検をして、いざという時にきちんと作動するようにしておきましょう。(メーカーでは最大10年を目安に交換を勧められています)



③で前述したとおり、ストーブからの出火はストーブに接触した可燃物が原因です。特にカーテンに火がつき燃え上がると天井まで急速に拡大し、初期消火が困難になります。寝具やカーテンを防災品にしましょう。



住宅火災発生時に初期消火を実施すると大幅に被害が軽減されます。最近は様々なタイプの消火器があります。いざという時に使えるよう、使い方も確認しておきましょう。



近所同士で声を掛け合う事は地域の連携を高める事につながります。地域の連携が放火被害や子ども火遊びを防止、火災から守る事になります。

消防団車両の紹介



小型動力ポンプ付積載車

近年、消防車両の更新に伴い、このような小型動力ポンプ付積載車が導入されています。

小型動力ポンプ

水を吸上げ、送り出すポンプです。消防車が入れないような場所に対してはこのポンプを消防車から取り外して運び、消火活動ができるようになっていきます。



エンジンカッター・ストライカー

新しい装備です。エンジンカッターはブロックやコンクリートを切断する事ができます。ストライカーは手動ながらもコンクリートを破壊する事ができます。どちらも災害時の救助活動で活躍します。



全団員研修

4月30日(日)に、各部新体制のもと、全消防団員及び、昨年発足しました女性消防団員の研修会を旧木更津市役所西側駐車場にて行いました。



研修は署員の指導のもと、役職・役割別に指導者の心得を学ぶ「幹部研修」、消防ポンプや資機材の取扱いを学ぶ「機関講習」、最後に基本動作を学ぶ「規律訓練」を全団員で行いました。

消防学校

5月14・15日の2日間、千葉県消防学校にて消防団員訓練指導が開催され、木更津市からは3名の分団長が入校しました。
消防学校では、消防団の現状や幹部の心得等を学び、その後、消防訓練礼式に則り、

基本動作や小隊を組んでの行進訓練や隊形変換訓練を一日半かけて行いました。
訓練修了生は、木更津市消防団の幹部として活躍していきます。

修了生コメント

4分団長 寺久保 亮

今年度、分団長になり消防学校へ入校しました。

訓練では自分が知らなかった知識や動きを学ぶことが出来て良い経験になりました。

また、他の消防団の方から様々な地域の消防団活動等を聞くことができ、とても身になりました。
今回の訓練を終えて、改めて分団長としての責任感や立場の重さを再確認しました。

第70回

木更津港まつり 花火大会警備

8月15日(火)午後5時から10時頃まで地曳団長をはじめとする団本部と今年の警備

担当分団である1分団、2分団、3分団の団員が、消防警備本部を中心に花火打ち上げ場所周辺の数か所に分かれ、警戒警備を行いました。

当日は、あいにくの小雨模様ではありましたが、二十万人近い来場者という事もあり、急病人に関する情報が多数警備本部に寄せられました。幸いにして海への転落や大きな事故やケガをされた方もなく無事に警戒警備を終える事が出来ました。



地元を守る!自分達で!

消防団員募集

地域の防災リーダーになりませんか?

www.fdma.go.jp/syobodan/



↑防災に
アクセス

